

2018年5月18日

日化協3賞（安全表彰、技術賞、RC賞）の受賞者決定

—化学産業の更なる発展に向け、優れた取り組みを表彰—

一般社団法人日本化学工業協会

一般社団法人日本化学工業協会（住所：東京都中央区、会長：石飛 修（住友化学（株）代表取締役会長）、以下「日化協」）は、優れた安全活動を実施し模範となる事業所を表彰する「日化協 安全表彰」、社会全体の発展や環境の改善に大きく寄与した革新的で優れた科学技術や製品の創出を表彰する「日化協 技術賞」、レスポンシブル・ケア（以下「RC」）の更なる発展、拡大を図るため、優れた功績あるいは貢献をした事業所、部門、グループを表彰する「日化協 RC賞」の本年度受賞者を、本日選定いたしました。各賞の詳細につきましては、別紙をご参照ください。

なお、5月24日（木）に、パレスホテル東京（東京都千代田区）において各賞表彰式を行うとともに、6月21日（木）に発明会館（東京都港区）で開催する「安全シンポジウム」にて、安全表彰受賞者による受賞講演を、翌6月22日（金）に発明会館（東京都港区）で開催する「RC活動報告会」にて、RC賞受賞者の受賞講演を開催する予定です。併せて本年記念すべき50回目を迎えた技術賞に関しても別途、受賞講演を行う（日時場所未定）予定です。

以上

《本件に関するお問い合わせ先》

一般社団法人日本化学工業協会 広報部（TEL:03-3297-2555）

日化協 安全表彰、日化協 RC賞について（担当：鎌田）

日化協 技術賞について（担当：長尾）

第 42 回 日化協 安全表彰

【安全最優秀賞】

住友化学株式会社 大江工場（住化アッセンブリーテクノ株式会社含み）

所 在 地： 愛媛県新居浜市大江町 1 番 1 号

操業年月： 2009 年発足

主要事業： 偏光フィルム、耐熱セパレータ等の製造

従業員数： 1,226 名

安全成績： 無災害記録時間 1,113 万時間 無災害年数 4 年 8 ヶ月

主要受賞歴： 厚生労働省第 1 種無災害事業所（2016 年）

選定理由： 「安全をすべてに優先させる」の基本理念の基に、安全文化の深化、個々人の安全意識をより充実する活動を通して、休業災害ゼロ、協力会社休業災害ゼロ、重大保安事故ゼロ、重大環境事故ゼロを目指し、無災害記録を継続し、安全・安定操業及び健康を確保している。これらの活動は関係会社、協力会社とともに一体で運営され、関係会社、協力会社を巻き込んだ安全文化を確立している。

【安全優秀賞】

昭和電工 HD 山形株式会社 本社工場

所 在 地： 山形県東根市大字東根甲 5400 番地 2

操業年月： 2009 年操業開始

主要事業： ハードディスクメディアの製造

従業員数： 324 名

安全成績： 無災害記録時間 620 万時間 無災害年数 17 年 8 ヶ月

主要受賞歴： 村山労働基準局協会 安全優良事業場表彰（2013 年）

山形労働局 安全衛生に係る優良事業場 奨励賞（2015 年）

ボイラー・クレーン協会 優良ボイラー等安全管理事業場賞（2017 年）

【安全優秀賞（特別：中小規模事業所）】

日本エラストマー株式会社 大分工場

所 在 地： 大分県大分市大字中ノ洲 2 番地

操業年月： 1972 年操業開始

主要事業： 合成ゴムの製造

従業員数： 91 名（中小規模事業所）

安全成績： 無災害記録時間 374 万時間 無災害年数 22 年 9 ヶ月

主要受賞歴： 日化協・J R C C 安全努力賞（2008 年）

【安全優秀賞（特別：研究所）】

住友化学株式会社 筑波地区研究所

所 在 地： 茨城県つくば市北原 6 番地

操業年月： 1989 年 発足

主要事業： 有機 E L 材料、光学機能性フィルム、スーパーエンジニアリングプラスティック
材料開発

従業員数： 207 名

安全成績： 無災害記録時間 1,279 万時間 無災害年数 29 年 1 ヶ月

主要受賞歴： 日化協・J R C C 安全努力賞（2006 年）
日化協 R C 審査員特別賞（2017 年）

【安全優秀賞（特別：研究所）】

新日鉄住金化学株式会社 木更津管理室

所 在 地： 千葉県木更津市築地 1 番地（築地地区）

千葉県木更津市新港 15 番地 7（新港地区）

操業年月： 1956 年 八幡製鐵株式会社より分離独立

主要事業： 銅張積層板、液晶ディスプレイ用カラーフィルター（電子部品材料）等の材料
開発

従業員数： 138 名

安全成績： 無災害記録時間 541 万時間 無災害年数 17 年 2 ヶ月

＜ご参考＞

【日化協安全表彰について】

化学業界における自主的な保安・安全衛生の推進の一環として、安全の模範となる事業所を表彰する制度で、安全表彰会議が審査します。2018 年は第 42 回を迎え、2017 年 1 月から 12 月の実績に基づく募集を行い、優れた成績を収める 18 事業所（内、2 研究所を含む）から推薦（応募）をいただきました。審査は、鈴木和彦議長（岡山大学名誉教授）のもと、安全表彰会議において行われ、様々な角度から慎重かつ公平に表彰対象候補を絞り込み、特に優れた 5 事業所を現地調査事業所として選びました。引き続きこれら事業所を個々に訪問して詳しい現地調査を行い、その結果を安全表彰会議にて報告し、慎重に審議した結果、安全最優秀賞 1 事業所、安全優秀賞 1 事業所および安全優秀（特別）賞 3 事業所を選考しました。

第50回 日化協 技術賞

【総合賞】 独創性に富んだ優れた技術で、かつ科学技術の進歩に寄与したもので、技術として確立しており産業上の価値の高いもの

田辺三菱製薬株式会社

受賞業績：「逆転の発想が生んだ糖尿病治療薬『カナグリフロジン』」

業績内容：高血糖状態では『糖尿病』の名前の通り尿中に糖が漏れ出る。尿糖の増加は病気の進行をイメージさせるが、これを高血糖に対する生体の安全弁が働いた結果と捉え、「尿に糖が出る病気」を「尿により多くの糖を出させる」、すなわち、見かけ上病気を悪化させることで治療するという「逆転の発想」に至った。天然配糖体フロリジンをヒントに創製した SGLT 阻害剤の T-1095 は、まったく新しいタイプの糖尿病治療コンセプトとして国内外の注目を集めた。さらに、これを改良して、より顕著に尿に糖を出させる作用を持った「カナグリフロジン」を創製し、最大市場である米国において First in Class の医薬品として世に送り出すことに成功した。カナグリフロジンは糖尿病の治療薬において SGLT-2 阻害剤という新たなカテゴリを確立し、これまでの最大売上規模は全世界で約 1,600 億円(2016 年度)を記録した。世界最大の医薬品市場の米国において経口糖尿病薬全体で第 2 位、SGLT2 阻害薬の中ではトップシェアを獲得している。現在、世界 80 か国以上で販売され、長期間安定した効果を実現して、日欧米を中心に多くの人々の健康やより良い医療に貢献し続けている。

【技術特別賞】 独創的技術あるいは改良技術で、科学技術の進歩に寄与したもので、比較的規模は小さくとも、独創的で技術的に優れたもの

東レ株式会社

受賞業績：「タッチパネル用感光性導電ペーストの開発」

業績内容：本技術は、感光性有機成分と無機粉末を混合した感光性ペーストにおいて、微細配線パターン形成と低温熱処理での導電性発現というトレードオフの関係にある特性の両立に成功したタッチパネル用感光性導電ペーストに関するものである。上市以降、スマートフォンを中心に、タブレットなどのタッチパネルの引き回し配線として、アジア各国20社以上に採用された。現在、年間2億台以上のモバイル機器に使用され、感光性銀ペースト市場でほぼ100%のシェアを実現している。

【環境技術賞】 独創的技術あるいは改良技術で、環境負荷低減に対して著しい効果があり、科学技術の進歩に寄与したもの

東ソー株式会社

受賞業績：「排水用重金属処理剤『TX-55』の開発」

業績内容：排水中の重金属については、2011年の水質汚濁防止法改正、2017年の水俣条約施行などにより、Cd、Zn、Hg等の排出規制が厳格化され、従来の重金属処理剤では対応が困難となっている。また、従来剤は排水処理時に有毒な硫化水素ガスを発生するため、作業安全性の課題も指摘されている。これらの課題に対して、「重金属処理性能」と「安全性」に優れる新しい排水用重金属処理剤（製品名：TX-55）を開発した。周辺環境の水質汚染防止技術として高い評価を受けており、石炭火力発電所、ゴミ焼却場、土壤洗浄工場、メッキ工場などで順調に採用が進んでいる。

第12回 日化協レスポンシブル・ケア賞

【日化協 RC 大賞】

花王株式会社 SCM 部門

テーマ： 花王生産事業場での環境負荷低減活動

活動： 全社を挙げて長期間、温室効果ガスや廃棄物などで環境負荷の低減に取り組んできた。

設備投資を伴う大型プロジェクト 或いは 全社一律の削減テーマだけでなく、各工場の生産品目や設備に合わせた削減テーマ（草の根活動）も積極的に推進し、全体で大きな成果を挙げている。

【日化協 RC 審査員特別賞】

旭化成株式会社 守山製造所

テーマ： 地域社会との共生を目指した生物多様性保全活動

活動： 絶滅危惧種ハリヨを含む水生生物の保全活動を、周辺各社と連携し広域で展開。さらに、その活動を地域社会とのコミュニケーションに活用しているユニークな活動である。

【日化協 RC 審査員特別賞】

株式会社クレハ 生産・技術本部 いわき事業所

テーマ： 「CSR 地域対話集会」 および 双方向コミュニケーション紙 「にしき」 を通じた、地域との継続的なコミュニケーション

活動： 東日本大震災でも中断せず、15年に亘り住民の方々の「声」に耳を傾けて地域対話を継続。さらに、それを原動力として、自社の CSR 活動の継続的改善を行なっている。

【日化協 RC 優秀賞】

住友化学株式会社 愛媛工場

テーマ： 効果的・効率的な化学物質リスク評価に向けた製造現場からの提案

活動： 多様な現場に対応できる実効性と、作業者にも内容が把握しやすいシンプルで、効率的なリスク評価方法を確立。これを実施・展開することで、全社の安全確保に貢献している。

【日化協 RC 優秀賞】

日本化薬株式会社グループ

CET (クリーン・エコ・テクノロジー) プロジェクトチーム

テーマ： 全社廃水処理プロジェクトの立上げによる廃水処理技術の向上と技術者育成

活動： グループの全事業場に展開された自社開発の先進的な「排水処理技術」により大幅な環境負荷低減を達成。同時に、本プロジェクトを人材育成・技術伝承に活用している。

【日化協 RC 優秀賞】

三井化学株式会社 物流部 安全品質グループ

テーマ： 三井化学の物流 RC 活動 －「思い」を伝えて－

活動： 物流安全への「思い」を物流現場の一人ひとりに「伝える活動」と「現場の声を聞く活動」とで、管理部門と現場との徹底した意思疎通を図り、大幅な物流トラブル削減を達成した。

【日化協 RC 優秀賞】

三菱ケミカル株式会社

「三菱ケミカル特別管理化学物質」 自主管理推進プロジェクトチーム

テーマ： 化学品の盗難・紛失および悪用防止のための自主的な管理強化

活動： 法規制はないが悪用リスクの高い化学物質について自主管理ガイドラインを策定し、毒劇物同等の管理を全社で実施している先進的な取り組みである。

<ご参考>

【日化協レスポンシブル・ケア（RC）賞選考基準】

- ・RCの6コード（保安防災、労働安全衛生、環境保全、コミュニケーション、化学品・製品安全、物流安全）に関する活動で顕著な成績を残したもの
- ・企業内のRC活動の推進にあたり、率先して実施し、顕著な貢献のあったもの
- ・RCの海外活動に貢献したもの

【レスポンシブル・ケアとは】

地球環境問題や工業化地域の拡大などによる「環境・健康・安全」に関する問題の広がり、また、技術の進歩により発生する新たな問題等に対して、化学物質に関する環境・健康・安全を規制だけで確保していくことは難しくなっています。換言すると、環境・健康・安全を確保していくために「化学製品を扱う事業者が責任ある自主的な行動をとること」が今まで以上に求められる時代となっている、と言えます。

こうした背景を踏まえて、化学業界では、化学物質を扱うそれぞれの企業が化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至る全ての過程において、自主的に「環境・健康・安全」を確保し、その成果を公表し、社会との対話・コミュニケーションを行う、という活動を取り組んでいます。この活動を“レスポンシブル・ケア”と呼んでいます。

レスポンシブル・ケアは1985年にカナダで誕生しました。1989年に国際化学工業協会協議会（I C C A）が設立され、レスポンシブル・ケアを通じた安全・環境の向上への取り組みと社会との対話とを所属各国協会が協力して行うとともに、レスポンシブル・ケアを途上国等に普及させる活動を行っています。今やレスポンシブル・ケアは、世界60以上の国と地域（2018年4月現在）で展開されています。